

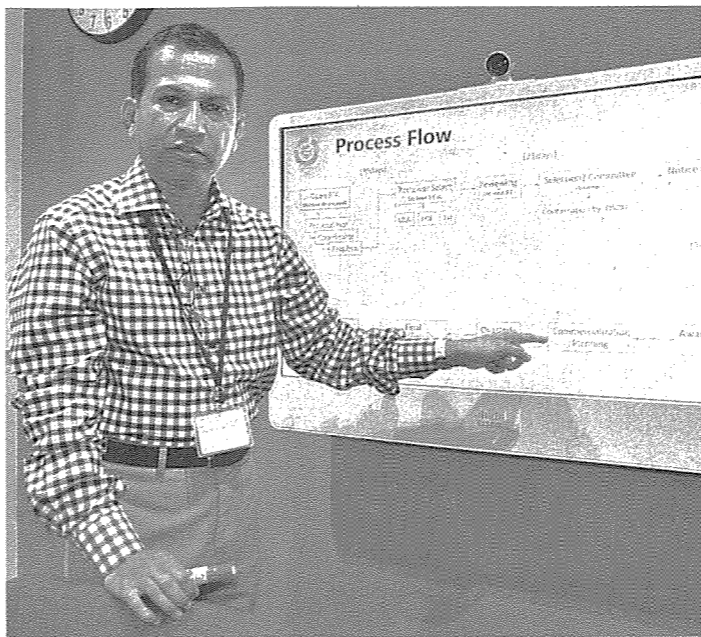
# 県経済自立を支援

## OISTが集中投資制度

ことしで開学4年目を迎えた沖縄科学技術大学院大学(恩納村、OIST)は、より実用化に近い研究に集中的に資金を投入する初の制度「プルーフ・オブ・コンセプト(POC)プログラム」を10月に始めた。低価格太陽電池の製作やアルツハイマー病の治療のためのペプチド(アミノ酸の結合体)の生成など、五つの研究事業を認定した。研究事業は18カ月以内に民間事業者との契約を結ぶなど具体的な成果を出すことが求められている。「県経済の自立的発展」というOISTの開学精神の実現を後押ししようだ。

## 5 研究事業を認定

OISTは、POCプログラム「沖縄の自立的発展」を担うロボットのバックグラムの導入に先立ち、



「当するロボット・バックグラムの導入に先立ち、OIST最大のミッションである沖縄の自立的発展につながる」と話した。今回、POCプログラムに認定された事業はいずれも、実用化に成功すれば、沖縄から世界でも類を見ない技術が誕生する。エネルギー業界や医療業界などさまざまな分野で技術革新を起こす可能性を秘めており、民間事業者からも注目を集めている。(吉田健一)

**スカイ再生計画**  
来月3月完了へ  
民事再生手続中のスカイマークが来月3月末にも再生計画を完了する方向となったことが30日、分かった。この日までに大口債権者との債権額を確定させ支払いの枠が固まった。スカイマークはこれまで計画完了時期などの見直しは示していなかった。  
主に3段階ある弁済手続きのうち、基本となる弁済を30日、債権者に対し実施した。

**県内総事業所数**  
1.2%増6万8千  
14年度経済センサス県企画部統計課は30日、事業所や企業の経済活動の状況などを分析する「2014年経済センサス基礎調査」(7月1日時点)を発表した。県内の事業所総数(民営)は、前回調査を実施した12年(2月1日時点)と比べ1.2%増の6万8117事業所で、全国平均の0.2%を大きく上回った。  
従業者総数は5.5%増の54万3072人で、増加率は全国で3番目の高さとなった。  
産業分類別事業所数は「卸売業、小売業」が1万6150事業所(構成比24.8%)と最多で、「宿泊業、飲食サービス業」が1万1919事業所(同18.3%)、「生活関連サービス業、娯楽業」が6104事業所(同9.4%)などと続いた。  
従業者総数の中でも、女性従業者数が7.7%増の26万5636人と東京に次ぐ高さとなった。

## 経済効果6億3500万円

### クルーズ船 1人平均13万8千円

クルーズ船  
クルーズ船  
クルーズ船

クルーズ船 Ryukyu Shimpo, PS  
December 1, 2015

服・バッグ・靴など	5.2%
医療・薬品など	17.1%
電化製品	8.9%
和風雑貨	16.3%
日用品	16.3%

クルーズ船  
クルーズ船  
クルーズ船

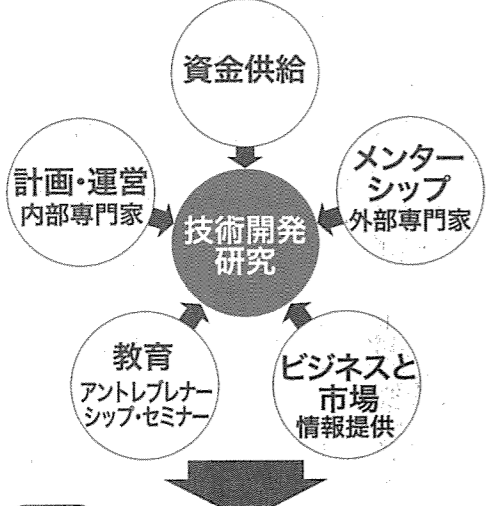
## 自立的発展への挑戦

沖縄で生まれた発明を権利化し、沖縄の自立的発展につなげる。ことしで開学4年目を迎えた沖縄科学技術大学院大学(恩納村、OIST)の研究資金供給制度「プルーフ・オブ・コンセプト(POC)プログラム」が、研究で開発された挑戦的で独創的な技術や発見に資金と人材を集中的に投入し、実用化を促す。

POCプログラムは主に五つの構成要素からなる。まず、1事業に付き500万円から1千万円を外部からの情報提供に加え、上限に資金を援助。その後、OIST独自の「メンターシップ」制度を採用し、世界中の企業から選ばれた外部の専門家が企業とのマッチングを手助けする。外部専門家は「メンター」として、経営処理や物産購入など研究チームを中からサポートする。研究チームは三つの目標を設定し、18カ月以内に目標達成に向けて、研究を深化させる。OISTがPOCプログラムを

## 挑戦的研究に人・金投入

POCプログラムのイメージ図



- 成果
- 能力開発 ●産業連携の誘致
  - 技術移転の強化 ●起業設立の機会 ●沖縄の発展に貢献

シャハリアル氏は「どんなに素晴らしい技術でも企業が認めないと意味がない」と指摘。学術機関と企業が根拠を取り持つことで、技術研究の発展を促し、社会に還元する仕組みづくりに意欲を見せる。「1人の能力には限界がある。チームを組むことで相乗効果が生まれ、より実用化に近づけることができる」とPOCプログラムの利点を説明する。(吉田健一)

## 外国人客に安心を 医療通訳講座修了式



おきぎん経済研究所と万国医療診療協議会が主催した「英語による『医療通訳』講座」の修了式が28日、浦添市でたこホールで行われ、受講生に修了証書が手渡された。増加する外国人観光客の安全・安心を

「クルーズ」の乗客を対象にアンケート表を配布し、回収数は495件だった。